



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名 (株)さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL <http://www.saikaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 進 (TEL) 044(211)3157
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	29,090	△0.8	685	△4.7	477	6.3	503	18.8
24年2月期第3四半期	29,311	△16.1	718	29.2	449	61.6	423	△93.8

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 513百万円(21.3%) 24年2月期第3四半期 423百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	16.13	11.07
24年2月期第3四半期	13.58	7.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	24,032	3,147	13.1
24年2月期	25,103	2,626	10.5

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 3,147百万円 24年2月期 2,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	—	—	0.00	0.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	1.9	910	△0.0	570	0.2	570	△17.7	18.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期3Q	31,353,142株	24年2月期	31,353,142株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	129,459株	24年2月期	127,362株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期3Q	31,224,684株	24年2月期3Q	31,226,890株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は平成25年1月11日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
(5) その他	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 連結売上高	12
(2) 店別売上高	12
(3) 商品別売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年11月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより持ち直しの動きは見られたものの、欧州の債務危機や中国経済の減速、円高の長期化などの影響により景気の先行きは不透明であり、依然として消費マインドも低迷している状況が続いております。

百貨店業界におきましては、3月、4月は昨年発生した震災の影響の反動などにより全国百貨店売上高が前年実績を上回りましたが、その後は、大型台風の上陸や集中豪雨など全国的な天候不順の影響やクリアランスセール開催時期の分散化により、夏物商戦は全体的に低調となりました。当第3四半期においては当初厳しい残暑が続きましたが、10月下旬からの急激な気温の低下により重衣料の動きが活発となり、冬物衣料は好調に推移いたしました。

このような状況の下、当社中核の百貨店業につきましては業界の推移と同様、第1四半期は昨年発生した震災による影響の反動から増収となりましたが、第2四半期においては、天候不順等の影響で減収となりました。当第3四半期は厳しい残暑の影響で秋物衣料品は苦戦しましたが、創業140周年記念の物産展催事等を企画・開催し集客の増強に努めました。この結果、川崎店は好調に推移いたしましたが、横須賀店や藤沢店については秋物商品の売上の落込みをカバーするまでには至らず、9月、10月の売上高は前年実績を若干下回りました。しかしながらその後急激な気温の低下により各店ともにコート等の冬物衣料品やマフラー等の小物雑貨、羽毛布団等の動きが好調となり、11月の売上高は3店舗ともに前年実績を上回りました。

営業施策面に関しては、昨年6月から偶数月の15日にシニア世代(65歳以上)限定で販売しご好評いただいている「スマイルシニアデーお買物券」の販売枚数を4月から増やし、シニア世代向けのサービスの内容の充実を継続して実施しており、マスコミにも取り上げられるほど話題となっています。また、第1四半期から当社の創業140周年記念特別企画として各地で話題の商品を数多く取り揃えた物産展などを各店で開催して参りましたが、創業月である10月には記念催事や大型物産展等を特に強化し連続して開催いたしました。さらに、今夏のお中元時に引き続きお歳暮ギフトセンターにおいてボーナスポイント進呈企画を実施したほか、横浜市港北区の「ショッピングセンター・トレッサ横浜」に11月23日から12月16日まで期間限定でお歳暮ギフトセンターを出店するなどお歳暮ギフトの強化を図りました。このほか、当社ホームページおよび携帯サイト内に、さいか屋女子社員が季節の行事や今話題の商品などに合わせて毎回テーマを決め、各店ごとにお勧めの商品を自ら選定しご紹介する「いどばたガールズプロジェクト(略称:IGP)」による情報発信ページを11月27日よりスタートするなど、お客様の満足度向上のための施策に取り組みました。

各店別では、川崎店においては、当社の創業と同じ明治5年10月に鉄道が新橋～横浜間に開通した際に開業したJR川崎駅とタイアップし、10月に140周年特別記念企画として「厳選140選 有名駅弁と全国うまいもの会」を開催いたしました。数量限定の記念駅弁の販売をはじめ、各地の駅弁140種を取り揃えた企画が好評となり来店客数、売上高の増加に大きく寄与いたしました。

横須賀店においては、明治5年10月に「雑賀屋呉服店」として地元横須賀で創業以来、140周年を迎えるまでの当社のあゆみと横須賀の変遷を振り返る「横須賀とともに140年ヨコスカ写真展」を10月に開催し、当社と横須賀市が所蔵する地元横須賀の懐かしい写真35点を一堂に展示し地元のお客様をはじめ多くの方々からご好評をいただきました。また、「北海道大収穫祭」など140周年ならではの大型催事を順次開催いたしました。

藤沢店においては、創業140周年記念企画として「有名駅弁と全国うまいものまつり」や、「加賀百万石展」等を10月に開催し、伝統の味から地元の逸品まで一同に取り揃えました。さらに11月には、ワイン王国山梨のワイナリー17社から約50種類・約1,200本の「甲州ワイン」を用意し「第一回山梨県の観光と物産展」を初開催するなど、新しいお客様の開拓に取り組みました。

町田ジョルナ店においては、地下2階に創業明治2年の歴史ある文房具店「MARUZEN」が10月6日にニューオープンし店舗の活性化につながりました。

一方財務面に関しては、事業再生計画に基づき子会社の再編として9月1日付で株式会社エーエムカードサービスを合併いたしました。また、ノンコア資産の売却として9月28日に洋光台テナントビルを売却し、有利子負債の削減に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高29,090百万円（前年同期比99.2%）、営業利益685百万円（前年同期比95.3%）、経常利益477百万円（前年同期比106.3%）、四半期純利益503百万円（前年同期比118.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産24,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,070百万円減少しました。これは主に、借入金の返済による現金及び預金の減少および減価償却による有形固定資産の減少等によるものです。負債については、前連結会計年度末に比べて1,592百万円減少し20,884百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて521百万円増加し3,147百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ655百万円減少し1,672百万円となりました。減少の主な理由は長期借入金の返済等によるものであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,214百万円（前年同期比112.7%）の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益499百万円および減価償却費802百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、116百万円（前年同期は315百万円の支出）の収入となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入338百万円および有形固定資産の取得による支出224百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,033百万円（前年同期比114.0%）の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出2,100百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成24年4月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、重要性が増したため株式会社さいか屋友の会を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社は、株式会社エーエムカードサービス(連結子会社)を、平成24年9月1日付で吸収合併しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(退職給付会計)

当社は、平成24年8月1日付で退職金規程を改定しております。これに伴い発生した過去勤務債務66,208千円を一括して償却し、特別利益に計上しております。

(5) その他

当社は、シダックス・コミュニティー株式会社から、同社が当社横須賀店南館内に賃借のうえ、現在も引き続き営業しているカラオケ店の賃料について、平成22年11月10日付で賃料減額の確認を求める訴訟の提起を受けております。

当社は、両社間での契約事項には何ら問題なく、シダックス・コミュニティー株式会社が主張している主要部分が事実と異なっていることなどから、上記訴訟の減額確認請求には理由がないと考えており、これまで12回おこなわれた口頭弁論において、当社の主張を十分に尽くしております。今後とも、当社の主張に沿った解決を図るべく、引き続き努力してまいります。

なお、本件による当社業績への影響はないと認識しておりますが、重要な影響が判明した場合は、速やかにお知らせします。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,327,498	1,762,285
受取手形及び売掛金	759,627	969,341
商品	1,574,231	1,632,605
貯蔵品	48,412	51,420
その他	369,379	375,096
貸倒引当金	△2,080	△180
流動資産合計	5,077,069	4,790,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,589,424	8,846,412
土地	7,574,679	7,363,709
リース資産(純額)	58,145	50,183
その他(純額)	59,427	43,683
有形固定資産合計	17,281,677	16,303,988
無形固定資産		
その他	118,033	103,499
無形固定資産合計	118,033	103,499
投資その他の資産		
投資有価証券	308,584	320,643
敷金及び保証金	2,025,455	2,251,975
破産更生債権等	38,964	31,330
その他	276,128	254,724
貸倒引当金	△27,893	△26,330
投資その他の資産合計	2,621,239	2,832,344
固定資産合計	20,020,951	19,239,833
繰延資産		
社債発行費	5,306	2,088
繰延資産合計	5,306	2,088
資産合計	25,103,326	24,032,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,866,108	3,229,241
短期借入金	98,800	83,400
1年内返済予定の長期借入金	991,618	—
1年内償還予定の社債	240,000	140,000
未払法人税等	15,636	11,464
賞与引当金	24,840	61,234
商品券回収損引当金	618,397	625,089
事業構造改善引当金	26,554	25,739
その他	1,985,944	2,139,583
流動負債合計	6,867,898	6,315,753
固定負債		
社債	140,000	—
長期借入金	13,999,124	13,230,643
繰延税金負債	233,131	219,573
退職給付引当金	413,835	362,638
資産除去債務	195,130	197,619
その他	628,083	558,330
固定負債合計	15,609,305	14,568,806
負債合計	22,477,204	20,884,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△905,796	△394,186
自己株式	△41,419	△41,540
株主資本合計	2,635,154	3,146,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,032	1,288
その他の包括利益累計額合計	△9,032	1,288
純資産合計	2,626,122	3,147,931
負債純資産合計	25,103,326	24,032,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	29,311,505	29,090,709
売上原価	22,695,277	22,565,990
売上総利益	6,616,227	6,524,719
販売費及び一般管理費	5,897,580	5,839,697
営業利益	718,647	685,021
営業外収益		
受取利息	10,418	4,684
受取配当金	1,863	3,022
負ののれん償却額	10,689	10,689
還付加算金	—	20,078
その他	28,630	8,986
営業外収益合計	51,602	47,461
営業外費用		
支払利息	288,155	233,246
その他	32,712	21,603
営業外費用合計	320,867	254,849
経常利益	449,382	477,633
特別利益		
退職給付制度改定益	—	66,208
固定資産売却益	105,619	—
貸倒引当金戻入額	1,317	—
事業構造改善費用戻入額	10,608	—
特別利益合計	117,545	66,208
特別損失		
固定資産除却損	16,226	3,770
減損損失	—	40,127
災害による損失	15,234	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,044	—
特別損失合計	102,505	43,897
税金等調整前四半期純利益	464,422	499,943
法人税、住民税及び事業税	5,520	10,611
法人税等調整額	34,907	△14,270
法人税等合計	40,427	△3,659
少数株主損益調整前四半期純利益	423,995	503,602
四半期純利益	423,995	503,602

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	423,995	503,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△441	10,320
その他の包括利益合計	△441	10,320
四半期包括利益	423,553	513,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,553	513,923
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	464,422	499,943
減価償却費	844,089	802,004
減損損失	—	40,127
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△76,997	△3,463
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	22,961	6,692
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,087	36,394
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△126	△51,196
受取利息及び受取配当金	△12,282	△7,706
支払利息	288,155	233,246
有形固定資産売却損益(△は益)	△105,619	—
有形固定資産除却損	16,226	3,770
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,044	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,942	△209,713
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,273	△60,005
仕入債務の増減額(△は減少)	246,353	363,133
その他	△414,944	△182,095
小計	1,392,700	1,471,130
利息及び配当金の受取額	12,282	7,620
利息の支払額	△313,514	△257,282
事業構造改善費用の支払額	△7,631	—
法人税等の支払額	△6,316	△7,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,077,519	1,214,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,223	△90,000
定期預金の払戻による収入	28,918	100,000
有形固定資産の取得による支出	△193,025	△224,903
有形固定資産の売却による収入	248,042	338,579
無形固定資産の取得による支出	△2,594	△6,523
投資有価証券の取得による支出	△502	△525
貸付金の回収による収入	313	21
差入保証金の差入による支出	△379,216	—
差入保証金の回収による収入	50	30
その他	2,376	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315,859	116,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△21,000	△15,400
長期借入れによる収入	450,000	340,000
長期借入金の返済による支出	△1,799,347	△2,100,099
社債の償還による支出	△400,000	△240,000
リース債務の返済による支出	—	△17,843
その他	△12,938	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,783,285	△2,033,463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,021,626	△702,609
現金及び現金同等物の期首残高	2,935,586	2,327,498
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,913,959	1,672,285

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	百貨店業	金融業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	29,309,005	2,500	29,311,505	—	29,311,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,614	19,427	22,041	△22,041	—
計	29,311,619	21,927	29,333,546	△22,041	29,311,505
セグメント利益又は損失(△)	716,197	△6,858	709,338	9,308	718,647

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9,308千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	百貨店業	金融業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	29,088,699	2,009	29,090,709	—	29,090,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	838	12,982	13,821	△13,821	—
計	29,089,538	14,992	29,104,530	△13,821	29,090,709
セグメント利益	681,738	1,580	683,319	1,701	685,021

(注) 1. セグメント利益の調整額1,701千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において連結の範囲に含めました株式会社さいか屋友の会は、百貨店業に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「百貨店業」セグメントにおいて、一部の固定資産の売却予定額までの減額分を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失計上額は、当第3四半期連結累計期間においては40,127千円でありませぬ。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自平成24年3月1日 至平成24年11月30日）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	29,304,228	98.3	29,044,159	98.0	△260,068	99.1
アルファトレンド㈱	476,739	1.6	565,402	1.9	88,662	118.6
㈱エーエムカードサービス	21,927	0.1	14,992	0.0	△6,935	68.4
㈱さいか屋友の会	—	—	16,265	0.1	—	—
小計	29,802,896	100.0	29,640,820	100.0	△162,076	99.5
内部売上高の消去	△491,390	—	△550,110	—	△58,719	111.9
合計	29,311,505	—	29,090,709	—	△220,795	99.2

(参考) ㈱さいか屋友の会の前第3四半期連結累計期間の売上高は20,259千円であり、全額内部売上高であります。
 ㈱エーエムカードサービスは当第3四半期連結会計期間において㈱さいか屋と合併しております。

(2) 店別売上高(単体)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
川崎店	7,921,222	27.8	8,156,454	28.9	235,231	103.0
横須賀店	7,960,588	28.0	7,804,925	27.7	△155,663	98.0
藤沢店	11,564,237	40.6	11,316,522	40.1	△247,714	97.9
町田ジョルナ	1,030,876	3.6	925,978	3.3	△104,898	89.8
小計	28,476,925	100.0	28,203,881	100.0	△273,044	99.0
テナント及び手数料収入	827,302	—	840,278	—	12,976	101.6
合計	29,304,228	—	29,044,159	—	△260,068	99.1

(3) 商品別売上高(単体)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	8,400,024	29.5	8,722,236	30.9	322,211	103.8
身回品	2,146,395	7.5	2,098,364	7.4	△48,030	97.8
雑貨	3,721,704	13.1	3,848,308	13.7	126,604	103.4
家庭用品	951,298	3.4	954,242	3.4	2,944	100.3
食料品	10,688,274	37.5	10,079,609	35.7	△608,664	94.3
食堂・喫茶	922,452	3.2	920,360	3.3	△2,091	99.8
その他	1,646,776	5.8	1,580,757	5.6	△66,018	96.0
合計	28,476,925	100.0	28,203,881	100.0	△273,044	99.0

外商扱高	6,032,362	21.2	5,759,038	20.4
------	-----------	------	-----------	------